

*I count him braver who overcomes
his desires than him who conquers
his enemies; for the hardest
victory is over self.*



私は、敵を倒した者より、自分の欲望を克服した者の方を、より勇者と見る。自らに勝つことこそ、最も難しい勝利だからだ。—アリストテレス
※アリストテレス(紀元前 384~前 322)……古代ギリシアの哲学者。マケドニア出身。プラトンの学園「アカデメイア」で長年学んだのち、そこで教師となる。師の死後は、マケドニア王に招かれ、王子(のちのアレクサンドロス大王)の家庭教師を務めた。「すべての人は生まれながらに知ることを欲する」という言葉も遺している。

📖 受験用語の基礎知識 「志望校判定」

北辰テストでは「安全圏(A)・合格圏(B)・努力圏(C)・要検討(D)」といった志望校判定が出ます。これは、北辰図書が昨年の中3生の入試結果を調査し、各高校の合格者・不合格者が北辰テストでどれくらいの成績だったのかを集計したデータに基づいて算出しています。A判定(安全圏)が出ると「安全」という言葉をみて油断してしまう人がいますが、A判定の意味をよく考えてみてください。それは「過去の実績をみると、不合格者はごく少数で、合格が望めるランク」ということなのです。公立高校入試は2学期の偏差値がいくらよくても入試当日の得点がよくなければ、当然のことながら不合格になります。私立の併願校も確定して公立高校の志望校判定がよいと安心したくなる気持ちもわかりますが、油断は禁物です。入試当日にしっかりと得点できるように努力していきましょう。

◆ そろそろ、部活のこれからを話しませんか

勉強と部活の両立、なかなか難しいなあ、と実感している中学生は多いと思います。中3の夏休みまで部活があってもなかなか受験勉強に集中できなかった人もいます。それでは両立はなかなか難しいのでしょうか。「2013年度中学生調査」(※注1)によると、1日の平均家庭学習時間は、部活に積極的な中学生が89.3分、非加入の中学生は66.7分です。また、インターネットに興じる1日の平均時間は、部活に積極的な中学生が56.1分に対し、非加入の中学生は82.2分となっています。このような調査結果から部活をやっているから勉強ができないとは一概には言えないと思います。むしろ部活をやることによって生活にメリハリができて勉強に集中できる面もあると考えられます。萌学舎の中1・中2(72名)にアンケート調査をした結果、人気のある部活は、「吹奏楽」(10名)、「バスケットボール」(10名)、「ソフトテニス」(7名)となっています。みなさん、一生懸命活動しているようです▼しかし、休みがほとんどないような部活の状態はやはり問題ではないでしょうか。上記のアンケート調査結果では、「休みがない」と答えた生徒が26名いました。部活の悩みとして多かった答え(複数回答可)が「勉強する時間があまり

とれない」(35名)、「疲れがたまる」(35名)、「休みが少なすぎる」(34名)でした▼そもそも部活動はどのように位置づけられているのでしょうか。中学校・高等学校学習指導要領では「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環」となっています。したがって、「生徒の自主的、自発的な参加より行われる部活動」なのだから「少し体力的にきつい」とか「勉強をしなくちゃいけない」といった理由で生徒たちは部活を休んでいいはずですが。それなのに、なぜ休めないのでしょうか。一つは、教師による強制です。「練習を休んだらレギュラーから外す」などと言われている生徒もいます。この指導要領は戦後からほとんど変わっていませんが、部活は1980年代の校内暴力の時代を経て生徒管理の手段となってきた面も否めません。もう一つは、SNSの普及によって以前より「同調圧力」が強まっていることが考えられます。「同調圧力」とは「とにかくいつも一緒に行動しなきゃいけない雰囲気」です。休むと、友達の視線が気になるといったものです▼しかし、事故が起きてからでは遅いのです。1983～2013年度の過去31年間に運動部活動(小学・中学・高校)で850人の子どもが命を落としています(※注2)。医療水準の向上や安全対策の推進により全体的には減少傾向にあるものの、いまだに事故は起きています。ですから、つらいときは部活から逃げていいのです。部活動は「自主的な」活動だと認められているのですから教育委員会や学校は強制できません(※注3)。そして、「同調圧力」に悩んでいる人は、これまでとは違う視点をもつようにしましょう。「みんな仲良く」というのは幻想です。今後も、当然のことですが、気の合わない人間とも出会います。ですから「気に入らない相手とも、お互いに傷つけあわない形で、ともに時間と空間をとりあえず共有できる作法」を身につける必要があります。詳しくは『友だち幻想』(菅野仁著、ちくまプリマー新書)に書かれていますので、興味のある人は読んでみてください。社会学の視点を手に入れることで世界が変わってきます。それが勉強です▼さまざまな問題を抱える部活ですが、好きなことに打ち込めたり、さまざまな人間ドラマがあったりするのも部活です。しかし、過剰な練習は問題です。先生たちも過酷な勤務状況にあるかもしれません。話し合いながらよりよいものにしていきたいものですね。(加藤)

(※注1)西島央首都大学東京准教授らの研究グループが実施した調査。島沢優子著『部活があぶない』講談社現代新書

(※注2)内田良著『教育という病』光文社新書

(※注3)中澤篤史著『そろそろ、部活のこれからを話しませんか』大月書店

◆ 行事予定

- 11/19(日),23(祝),26(日) 12:30～19:00 期末テスト対策自習質問日 (教師が監督し勉強に専念させます)
- 11/18～25 期末テスト対策週間 (中学ごとに試験対策授業をします。詳しい日程表は別途配布しています)
- 12/3 北辰テスト
- 12/7,8 総合テスト
- 12/10 駿台模試
- 12/21 2学期最終日
- 12/22 休講(事務営業日 14時半～19時。自習室は使用できます)
- 12/23,24 入試特別講座(中3)
- 12/26～ 冬期講習
- 1/28 第8回中3北辰テスト(12/23～30に受験料4600円を持ってきてください)【編集/加藤】

- ☑ 今回の成績表は11/8～10に配布しています。ご確認ください。
- ☑ 生徒のみなさんへ！ 最近、傘の忘れ物が多くなっています。塾で保管しています。心当たりのある人はいませんか？
- ☑ 生徒のみなさんへ！ トイレにはトイレットペーパー以外(ティッシュ・生理用品など)流さないでください。先日、第二教室のトイレが詰まってしまい、1週間ほど使用できなくなりました。みんなで使う場所なので、気をつけましょう。